

令和 5 年 10 月 19 日

報道機関 各位

熊本大学

熊本大学認定ベンチャーStapleBio、AMED の推薦を受けて AMED アクセラレーションピッチに登壇

(ポイント)

- 熊本大学認定ベンチャーである株式会社 StapleBio (以下、StapleBio) が令和 5 年 10 月 11 日 (水) に、パシフィコ横浜で開催された JAPAN HEALTHCARE VENTURE SUMMIT (以下、JHVS) の AMED アクセラレーションピッチに登壇しました。
- 本ピッチは国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (以下、AMED)、厚生労働省の事業である医療系ベンチャー・トータルサポート事業 (以下、MEDISO)、および内閣府から推薦を受けたベンチャー企業が参加しました。
- 本ピッチで各シーズの開発状況が報告され、AMED 認定 VC が実用化・事業化に向けたアドバイス、コメント等を行いました。

(概要)

StapleBio は大学院先端科学研究部 勝田陽介准教授らが開発した日本発「Staple 核酸」の技術を活用した医薬品等の研究開発を行う熊本大学認定ベンチャー (代表: 谷川 清) で、令和 3 年 11 月 30 日に設立されました。

JHVS (※1) は厚生労働省が医薬品、医療機器、再生医療等製品の研究開発を行うベンチャーの振興を図ることを目的とするイベントです。本イベントの中で開催された AMED アクセラレーションピッチには、AMED、MEDISO (※2)、および内閣府からの推薦を受けたベンチャー企業 9 社が参加しました。AMED 推薦を受けた StapleBio からは、取締役 CSO・勝田 陽介氏 (同学・大学院先端科学研究部・准教授) が登壇し、Staple 核酸を用いた遺伝子発現量の増減技術について発表し、AMED 認定 VC (※3) から、事業化に向けたアドバイスやコメントを受けました。

(参考) シーズピッチ登壇者

- ① 熊本大学 / 株式会社 StapleBio (日本発技術である Staple 核酸を利用した遺伝子発現制御法について)

- ② 藤田医科大学／株式会社 FerroptoCure（新規標的分子を用いたフェロトーンシス誘導性抗がん剤の開発）
- ③ Chordia Therapeutics 株式会社（RNA 制御ストレスを標的とした抗がん薬の開発）
- ④ セレイドセラピューティクス株式会社（「細胞で未来を変える」ヒト造血幹細胞の体外増幅技術を用いた細胞治療製品の開発）
- ⑤ 株式会社リエイル（採血のみで実施できる低侵襲・高効果な血管・組織再生治療の開発）
- ⑥ PuREC 株式会社（細胞移植治療の未来を切り開く高純度間葉系幹細胞 REC（Rapidly Expanding Cells））
- ⑦ 株式会社凜研究所（TMEM180 を高発現する大腸がんにも有効な新規ヒト化抗 TMEM180 抗体の開発）
- ⑧ 株式会社メトセラ（心臓内幹細胞を用いた小児先天性心疾患患者に対する治療法の開発）
- ⑨ C 4 U 株式会社（新規ゲノム編集技術 CRISPR-Cas3）

※ 1 JAPAN HEALTHCARE VENTURE SUMMIT

[https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_33516.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_33516.html)

※ 2 医療系ベンチャー・トータルサポート事業

<https://mediso.mhlw.go.jp/supporter/>

※ 3 AMED 認定 VC

[https://www.amed.go.jp/program/list/19/02/005\\_Capital.html](https://www.amed.go.jp/program/list/19/02/005_Capital.html)

【説明】AMED が行う「創薬ベンチャーエコシステム強化事業」の中で、創薬ベンチャー企業を支援するため、創薬に特化したハンズオンによる事業化サポートを行うベンチャーキャピタル（VC）を認定しています。

**【お問い合わせ先】**

熊本大学

熊本創生推進機構イノベーション推進部門

担当：日高

電話：096-342-3246

e-mail：liaison@jim.kumamoto-u.ac.jp